



会議通知の設定

会議通知の設定のウィンドウを使用して、会議通知機能を設定します。会議通知を Cisco IP Phone Messenger と連携することにより、ユーザの Cisco Unified IP Phone に Microsoft Outlook の会議の招待状を送信できます。


会議通知の設定値の設定

会議通知の設定値を設定するには、次の手順に従います。

手順

-
- ステップ 1** [アプリケーション] > [会議通知] > [設定] の順に選択します。
- [会議通知の設定 (Meeting Notification Settings)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** 表 37-1 の説明に従って適切な設定を入力します。
- ステップ 3** データを保存するには、ウィンドウの左上隅のツールバーに表示される [保存] アイコンをクリックします (または、ウィンドウの下部に表示される [保存] ボタンをクリックします)。
-

表 37-1 会議通知の設定値

フィールド	説明
MeetingPlace アドレス (MeetingPlace Address)	Cisco MeetingPlace サーバのホスト名または IP アドレスを入力します。
MeetingPlace ポート (MeetingPlace Port)	Cisco MeetingPlace のポート番号を入力します。 デフォルト：80 (SSL は無効) または 443 (SSL は有効)
信頼証明書件名 CN(Trust Certificate Subject CN)	信頼証明書件名 Common Name を入力します。
[SSL を使用 (Use SSL)] チェックボックス	<p>[SSL を使用 (Use SSL)] チェックボックスをオンにすると、Cisco MeetingPlace との接続でトランスポート レイヤセキュリティ (TLS) を使用するように指定されます。</p> <p> (注) SSL を有効にすると [信頼証明書件名 CN(Trust Certificate Subject CN)] フィールドがアクティブになり、[MeetingPlace ポート (MeetingPlace Port)] フィールドはデフォルトで 443 に指定されます。SSL を無効にすると、[信頼証明書件名 CN(Trust Certificate Subject CN)] フィールドは非アクティブになり、[MeetingPlace ポート (MeetingPlace Port)] フィールドはデフォルトで 80 に指定されます。</p>
[電子メール ID と同じユーザ ID] チェックボックス	[電子メール ID と同じユーザ ID] をオンにすると、Cisco Unified Communications Manager と Microsoft Outlook 予定表の両方で同じユーザ ID が指定されます。